

国際政治

191

グローバルヒストリーから 見た世界秩序の再考

日本国際政治学会編

序論 グローバルヒストリーから見た世界秩序の再考	秋 田 茂
外務卿副島種臣と日露領土交渉	醍 醐 龍 馬
ヴィッテとアジア市場	左 近 幸 村
越境する海軍と二〇世紀初頭の帝国秩序	大 井 知 範
近代アジアにおける越境する革命家の「旅」と都市	鬼 丸 武 士
「国民外交」における「中心」性と「周辺」性	中 村 信 之
イギリス帝国の「福祉国家」構想	佐 藤 滋
一九五六年基本法とフランス植民地帝国の変容	池 田 亮
国境を超える学生モビリティと高等教育分野における ヨーロッパ地域協力の歴史的展開	小 畑 理 香
<hr/>	
<書評論文>	
翻訳、文化、人間——柳父章と国際関係研究	芝 崎 厚 士
<hr/>	
<書 評>	
キャサリン・A・ゴードイ著 『キューバの生きたイデオロギー』	森 口 舞
林載桓著 『人民解放軍と中国政治』	浅 野 亮

2018年3月刊